

令和5年度 大阪府中学生チャレンジテスト結果について

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室

大阪府教育委員会が毎年度行っている大阪府中学生チャレンジテストの結果について、東大阪市立小中学校・義務教育学校の結果をお伝えします。(調査目的等の概要は P8に記載)

○今年度の結果概要

<教科>

中学校1年生(義務教育学校7年生)から中学校3年生(義務教育学校9年生)を対象に調査が行われました。本市では、いずれの学年・教科においても大阪府平均には届きませんでした(表①)が、設問別の正答率でみると、大阪府の平均正答率を超えているものもありました。また、1・2年生は全教科で、平均正答率の対府比が前年度よりも改善されました。課題としては、すべての教科において、「資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明する」といった思考力・判断力・表現力があげられます。

表①<平均正答率>

【中学校1年生】

	国語	数学	英語
東大阪市	58.1	51.1	59.5
大阪府	60.8	54.7	64.1

【中学校2年生】 ※社会 B については選択した学校が少数のため、公表いたしません

	国語	社会 A	数学	理科 A	理科 B	英語
東大阪市	63.4	51.3	47.7	36.9	38.5	51.9
大阪府	66.8	54.2	52.2	40.2	40.3	57.1

【中学校3年生】

	国語	社会	数学	理科 B	理科 C	英語
東大阪市	58.5	50.4	45.9	43.3	43.6	47.6
大阪府	62.1	54.7	52.2	47.6	47.6	54.2

<アンケート>

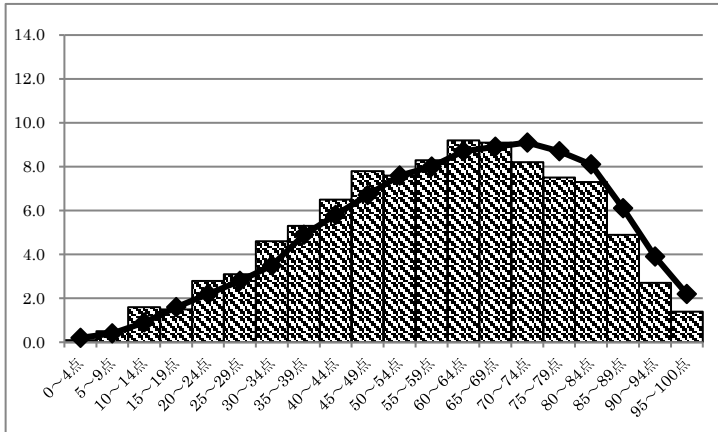
「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある」と肯定的に回答した割合が大阪府よりも高く、効果的な1人1台のタブレット端末の活用が進んでいるものと考えられます。一方、学習以外(ゲームや SNS 等)にスマートフォンやタブレットを使っている時間が大阪府全体よりも長い傾向がみられ、家庭での時間の使い方に課題がみられました。

<今後の取組み>

探究心(知的好奇心・ワクワク感等)を持ち続けるための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、1人1台端末や AI ドリル等の ICT 機器を効果的に活用しながら、教師主導の授業から、子ども主体の授業への転換を引き続き推進していきます。

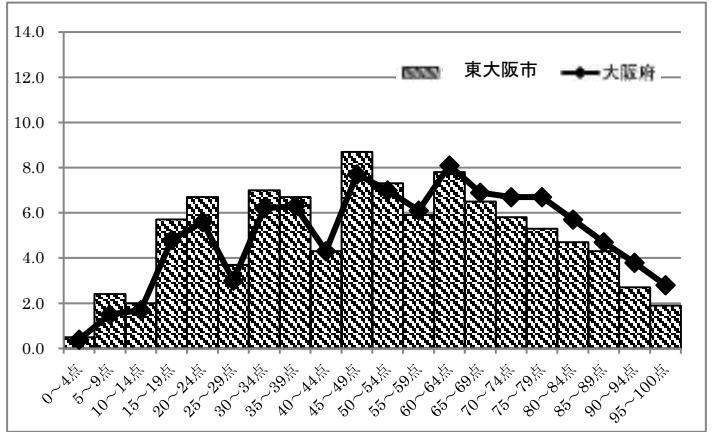
また、すべての子どもたちが誰一人取り残されない「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図りながら、学びの基盤となる言語能力や情報活用能力等の向上をめざしていきます。

第1学年 国語 平均点【市】58.1点【府】60.8点



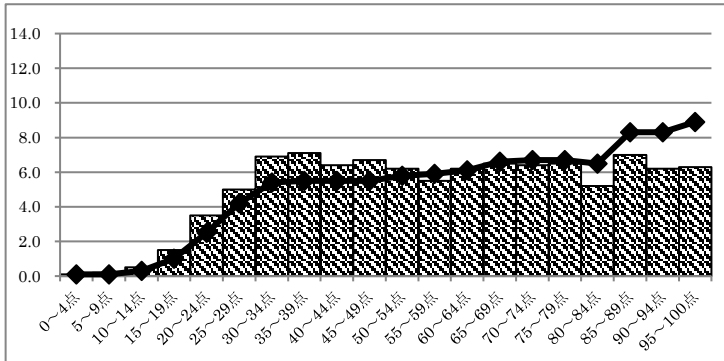
分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)		
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府	
	全体	31	100	58.1	60.8	—	—	
学習指導要領の領域等	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	10	23	16.0	16.3	69.7	71.0
		情報の扱いに関する事項	1	3	2.3	2.4	76.7	79.4
	我が国の言語文化に関する事項		7	24	12.7	13.6	52.8	56.5
	思考力、判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	5	19	9.4	10.0	49.3	52.6
		書くこと	5	20	11.8	12.4	59.2	61.9
		読むこと	9	32	17.9	18.9	56.0	59.1

第1学年 数学 平均点【市】51.1点【府】54.7点



分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	33	100	51.1	54.7	—	—
学習指導要領の領域等	数と式	16	50	26.1	27.8	52.3	55.6
	図形	6	18	9.2	10.2	51.3	56.7
	関数	11	32	15.8	16.6	49.2	52.0
	データの活用	—	—	—	—	—	—

第1学年 英語 平均点【市】59.5点【府】64.1点

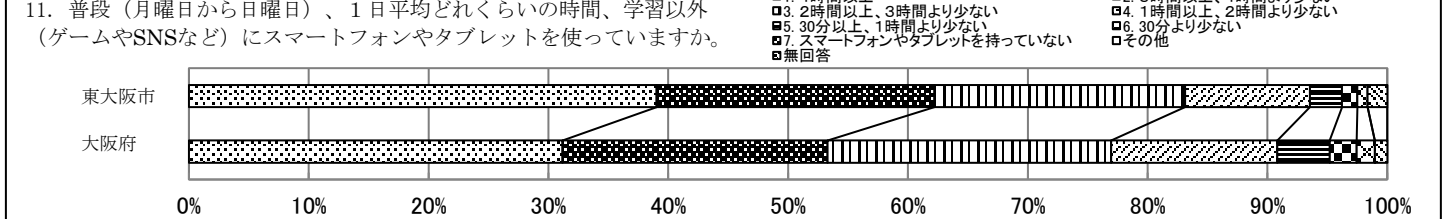
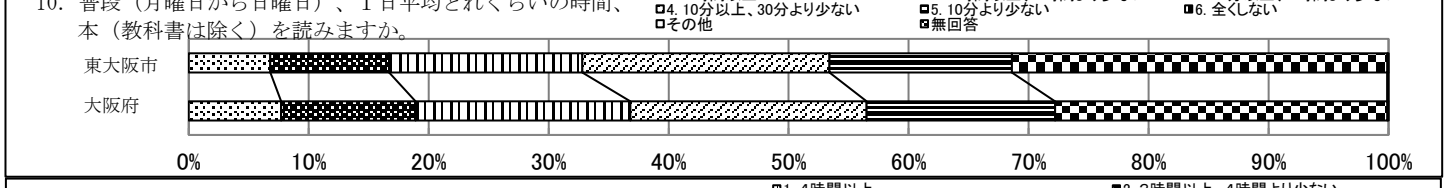
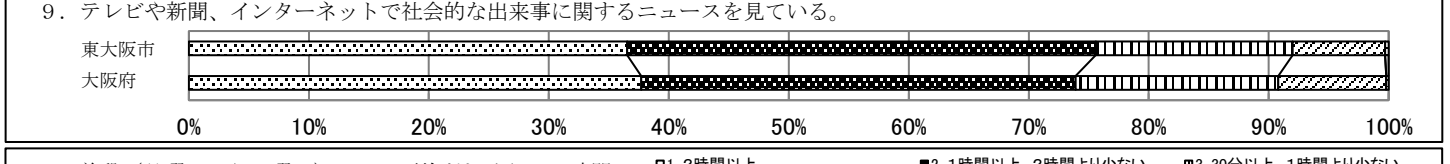
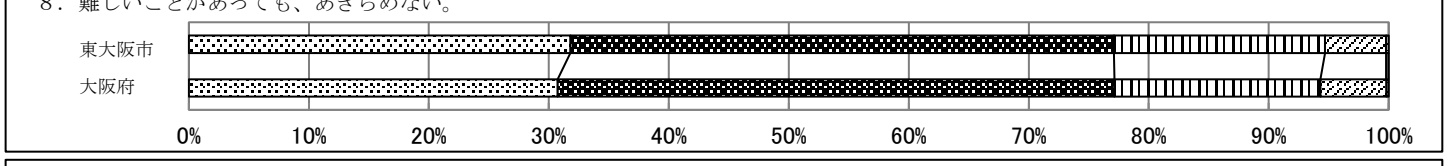
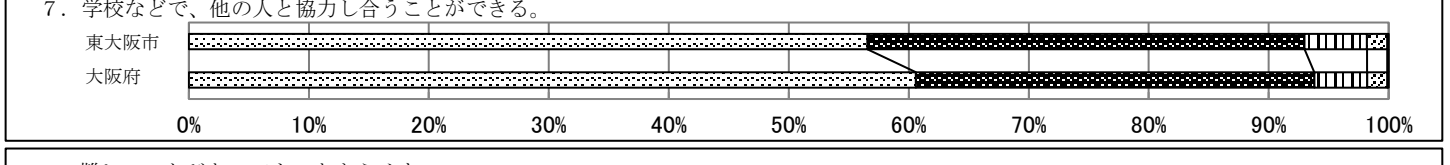
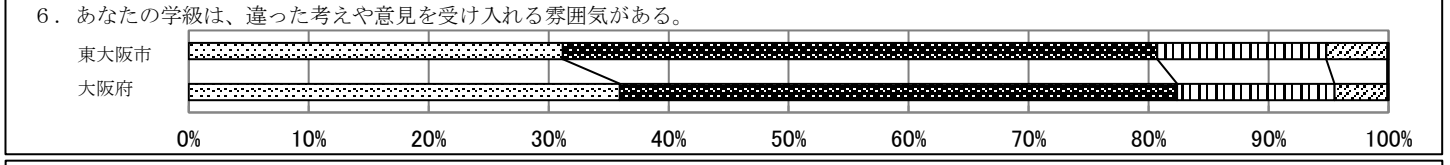
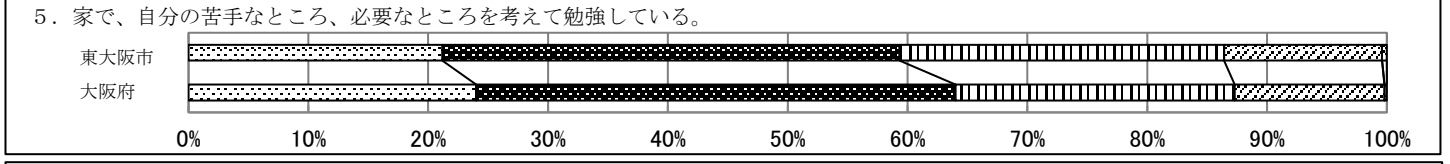
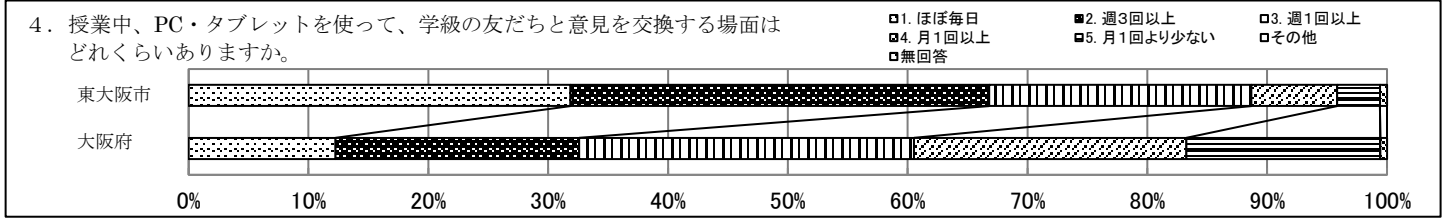
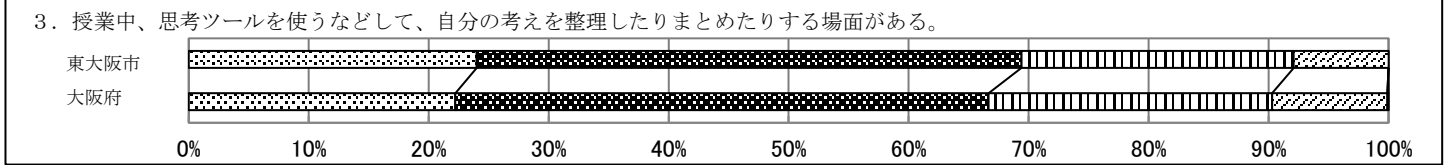
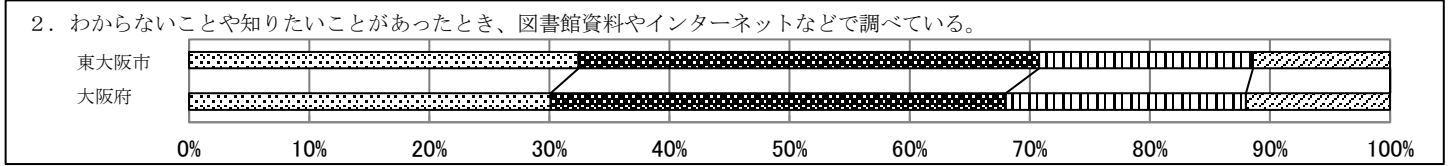
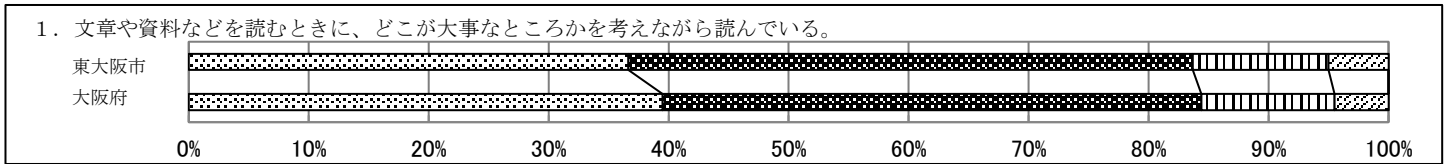


分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	39	100	59.5	64.1	—	—
学習指導要領の領域等	聞くこと	15	31	23.0	24.3	74.3	78.3
	読むこと	17	48	25.4	27.4	52.9	57.0
	書くこと	7	21	11.1	12.5	52.9	59.4

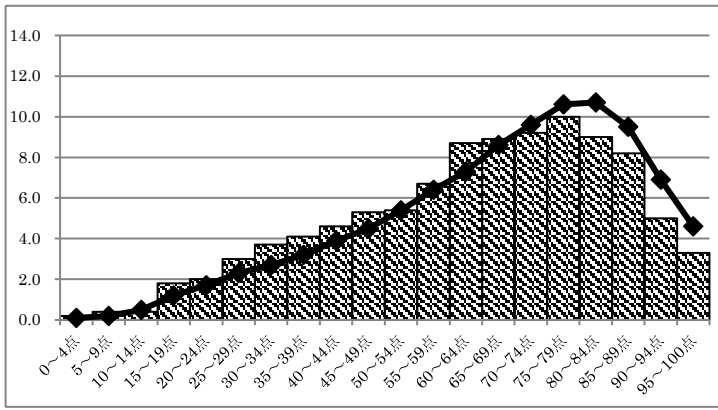


<中学校 1年生>

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

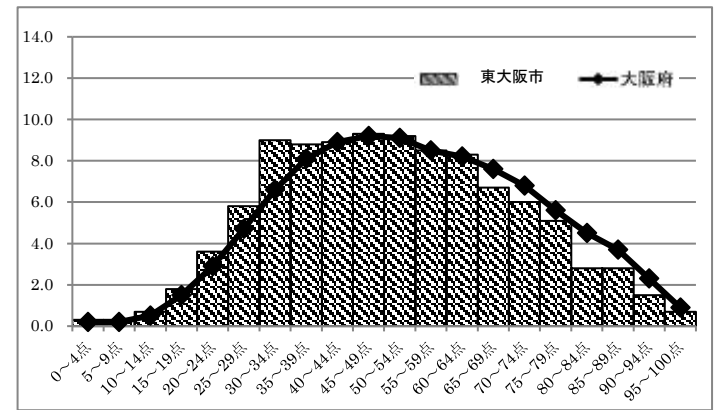


第2学年 国語 平均点【市】63.4点【府】66.8点



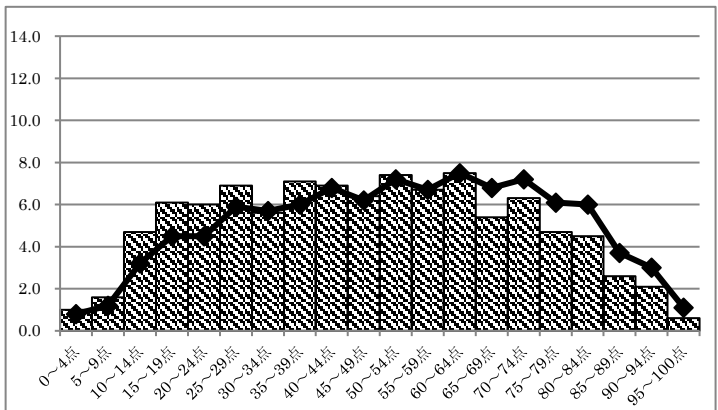
分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	30	100	63.4	66.8	—	—
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方に 関する事項	9	21	16.0	16.4	76.0	78.1
	情報の扱い方に 関する事項	4	17	11.1	11.8	65.5	69.3
	我が国の言語文化に 関する事項	6	22	11.8	12.7	53.6	57.8
	話すこと・聞くこと	6	24	13.6	14.4	56.9	60.0
	思考力、判断力、 表現力等	5	18	11.7	12.6	65.2	69.8
	書くこと 読むこと	8	31	18.9	20.0	60.9	64.7

第2学年 社会 A 平均点【市】51.3点【府】54.2点



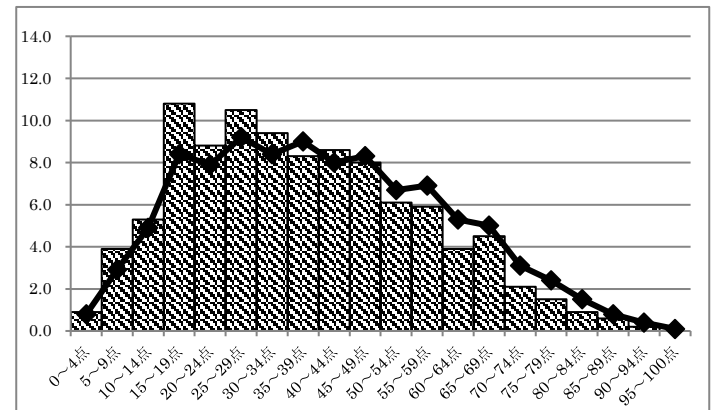
分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	35	100	51.3	54.2	—	—
学習指導要領の領域等	地理的分野	19	55	30.0	32.0	54.5	58.2
	歴史的分野	16	45	21.3	22.2	47.4	49.4

第2学年 数学 平均点【市】47.7点【府】52.2点



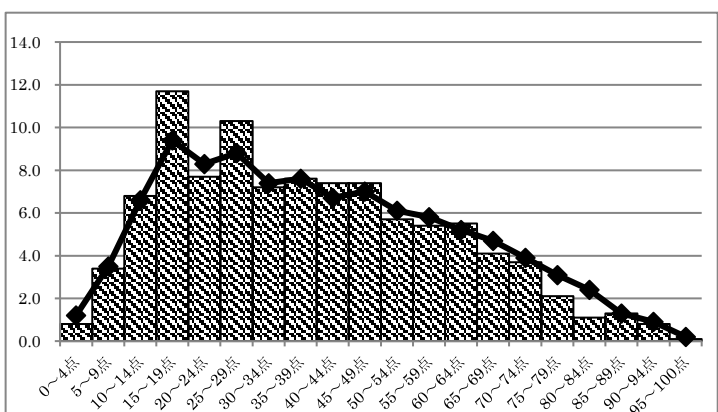
分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	29	100	47.7	52.2	—	—
学習指導要領の領域等	数と式	10	36	16.8	18.6	46.6	51.6
	図形	9	32	17.4	18.9	54.3	59.1
	関数	10	32	13.5	14.7	42.2	45.9
	データの活用	—	—	—	—	—	—

第2学年 理科 A 平均点【市】36.9点【府】40.2点



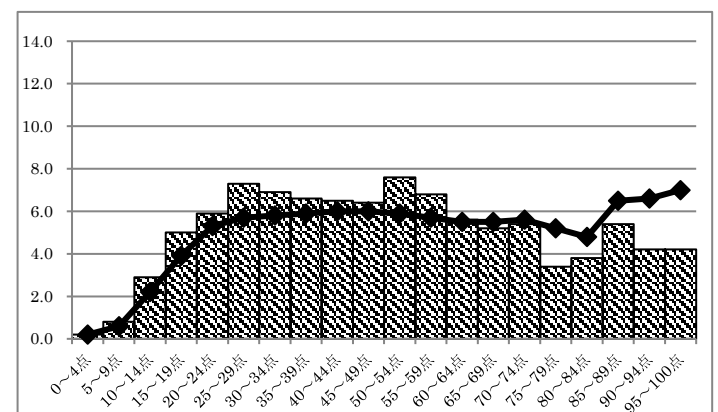
分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	30	100	36.9	40.2	—	—
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	6	20	6.4	6.9	32.2	34.5
	「粒子」	12	40	15.0	16.6	37.5	41.5
	「生命」	12	40	15.5	16.8	38.6	41.9
	「地球」	—	—	—	—	—	—

第2学年 理科 B 平均点【市】38.5点【府】40.3点



分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	30	100	38.5	40.3	—	—
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	—	—	—	—	—	—
	「粒子」	12	40	15.4	15.9	38.4	39.6
	「生命」	12	40	15.4	16.1	38.4	40.4
	「地球」	6	20	7.7	8.3	38.7	41.3

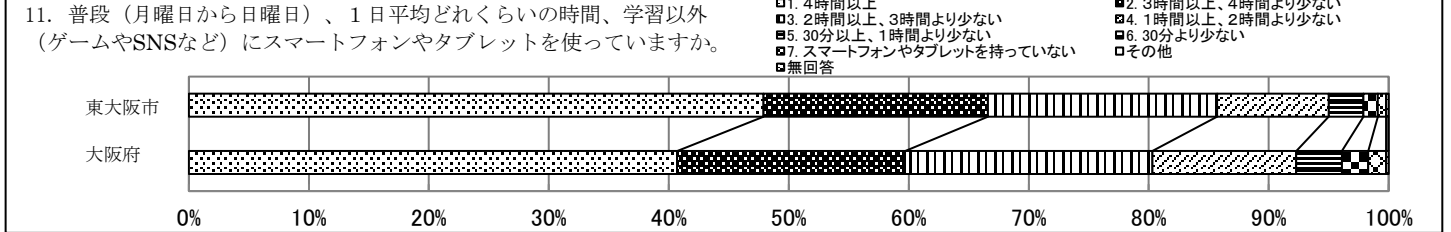
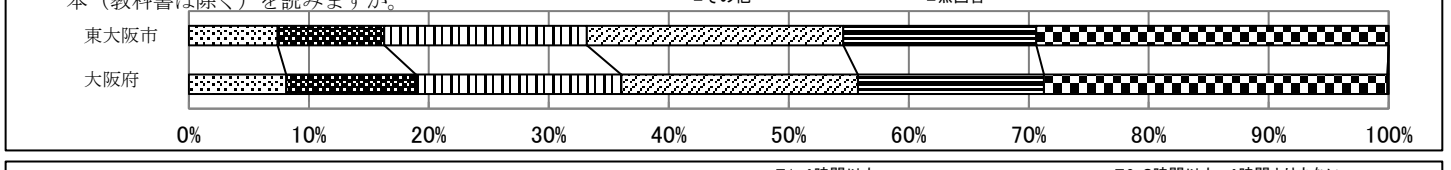
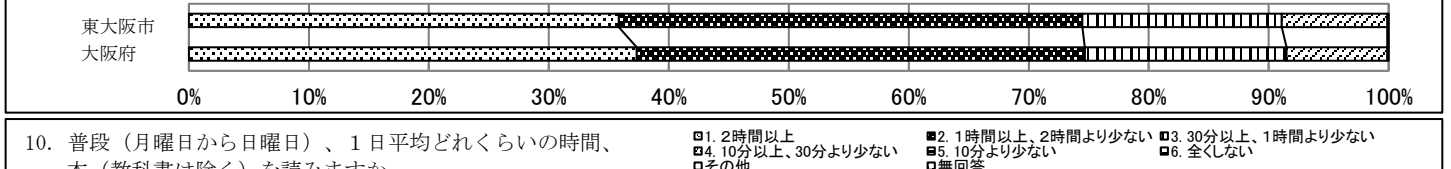
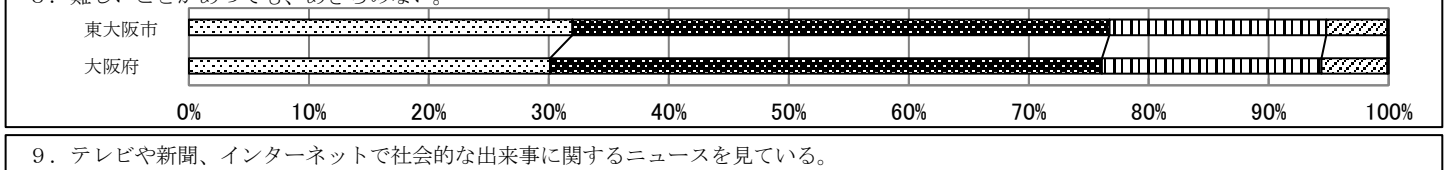
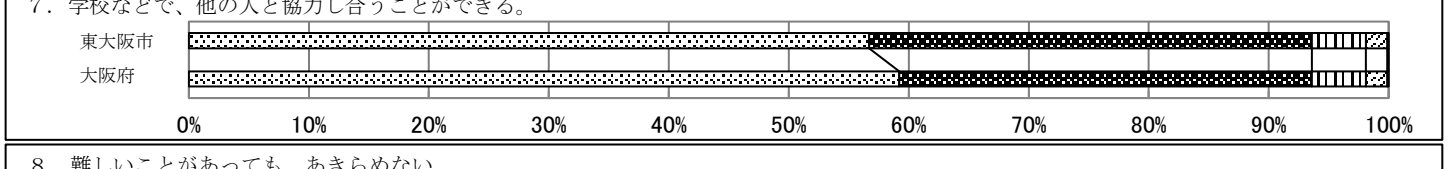
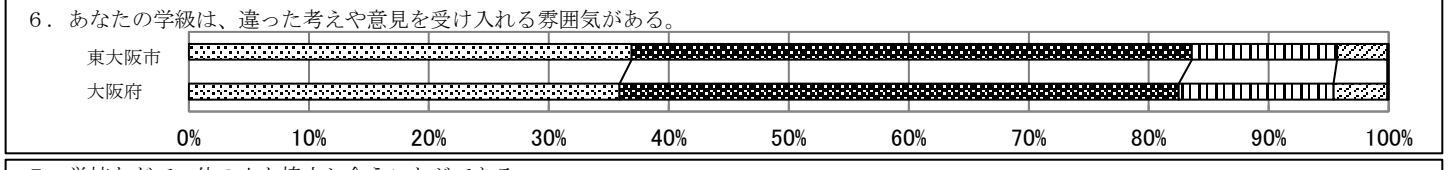
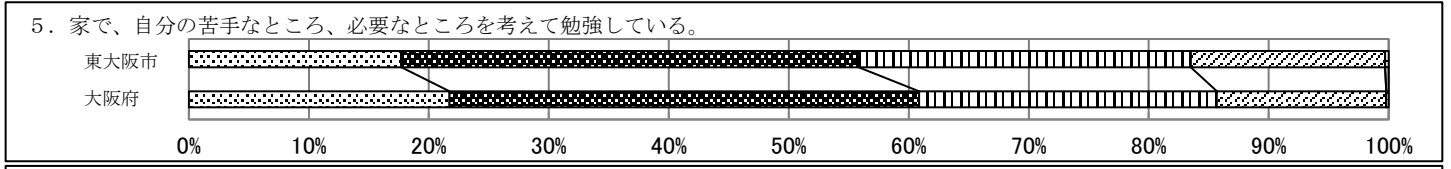
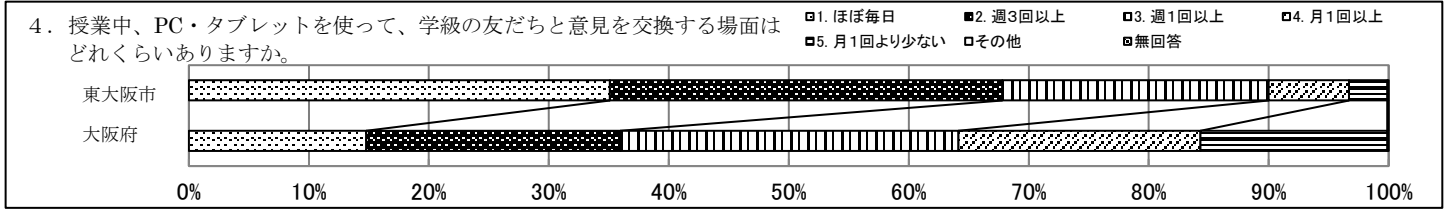
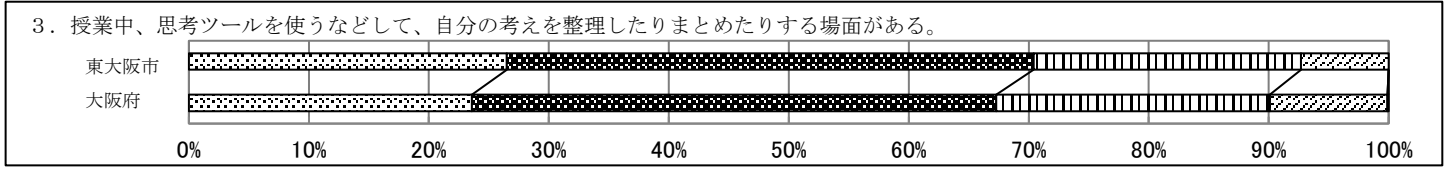
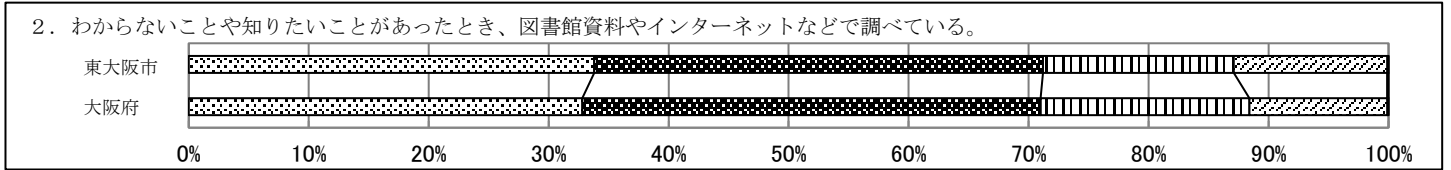
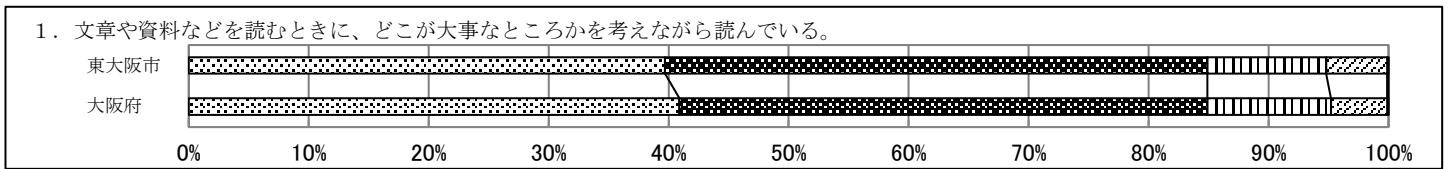
第2学年 英語 平均点【市】51.9点【府】57.1点



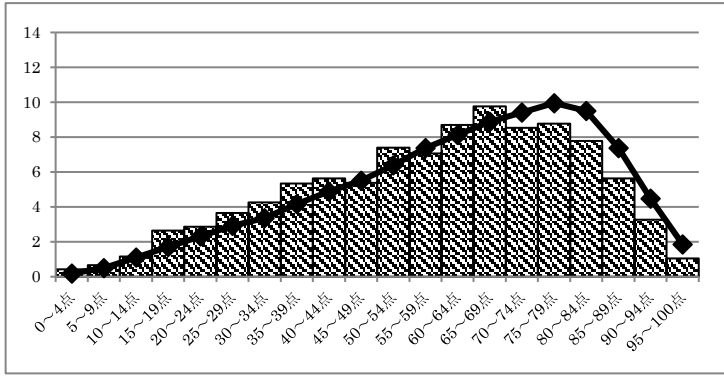
分類	区分	対象 設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
	全体	37	100	51.9	57.1	—	—
学習指導要領の領域等	聞くこと	12	30	19.3	20.8	64.3	67.4
	読むこと	12	31	17.4	18.9	56.2	58.1
	書くこと	13	39	15.1	17.5	38.8	44.9

<中学校2年生>

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない □その他 □無回答

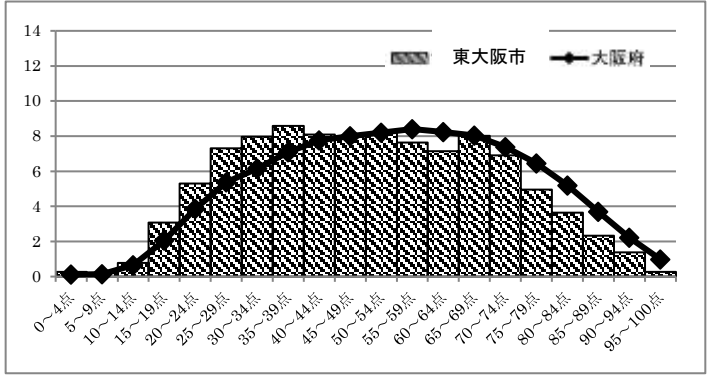


第3学年 国語 平均点【市】58.5点【府】62.1点



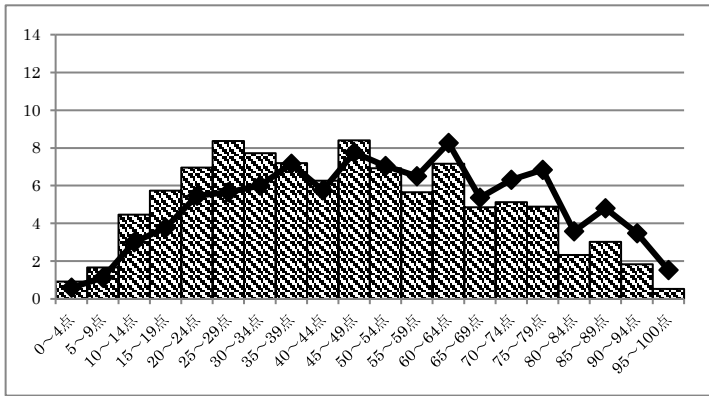
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	11	26	17.2	18.4	66.2	70.9
	情報の扱いに関する事項	2	9	2.0	2.3	22.6	25.1
	我が国の言語文化に関する事項	6	20	9.5	10.2	47.3	51.2
	話すこと・聞くこと	4	15	5.9	6.4	39.2	42.8
	思考力、判断力、表現力等	7	24	16.1	16.6	67.1	69.1
	書くこと	9	28	16.3	17.4	58.3	62.0

第3学年 社会 平均点【市】50.4点【府】54.7点



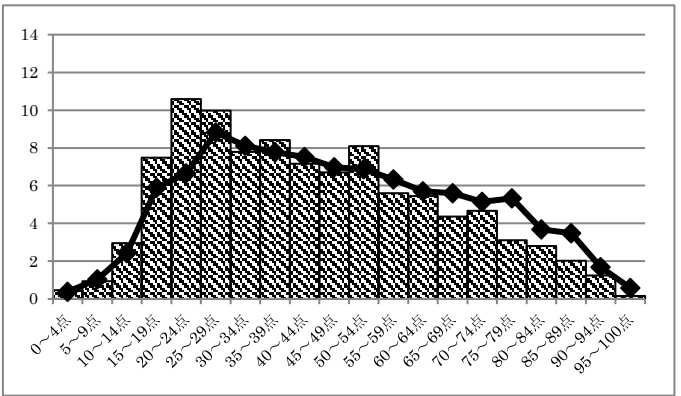
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域等	地理的分野	20	55	30.5	33.1	55.5	60.2
	歴史的分野	17	45	19.9	21.5	44.2	47.8

第3学年 数学 平均点【市】45.9点【府】52.2点



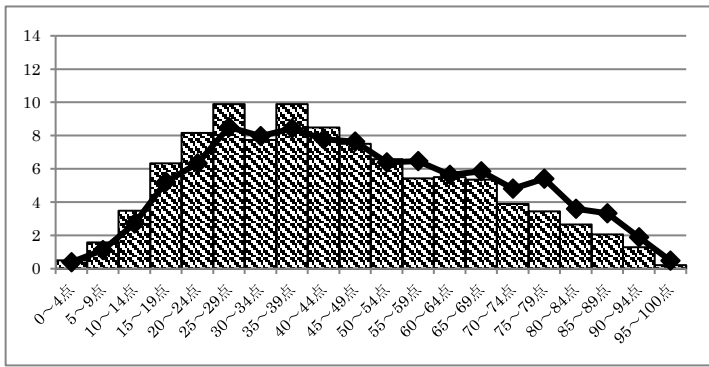
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域等	数と式	9	28	13.8	15.7	49.4	56.2
	図形	9	28	13.8	15.7	49.2	56.0
	関数	8	25	8.4	10.0	33.8	40.0
	データの活用	6	19	9.8	10.8	51.8	56.7

第3学年 理科B 平均点【市】43.3点【府】47.6点



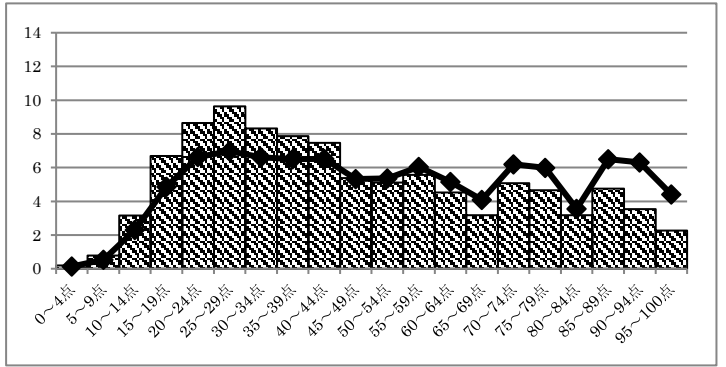
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	6	20	7.8	8.8	39.2	43.9
	「粒子」	12	40	17.9	19.4	44.8	48.6
	「生命」	6	20	9.2	10.3	46.0	51.5
	「地球」	6	20	8.4	9.1	41.8	45.3

第3学年 理科C 平均点【市】43.6点【府】47.6点



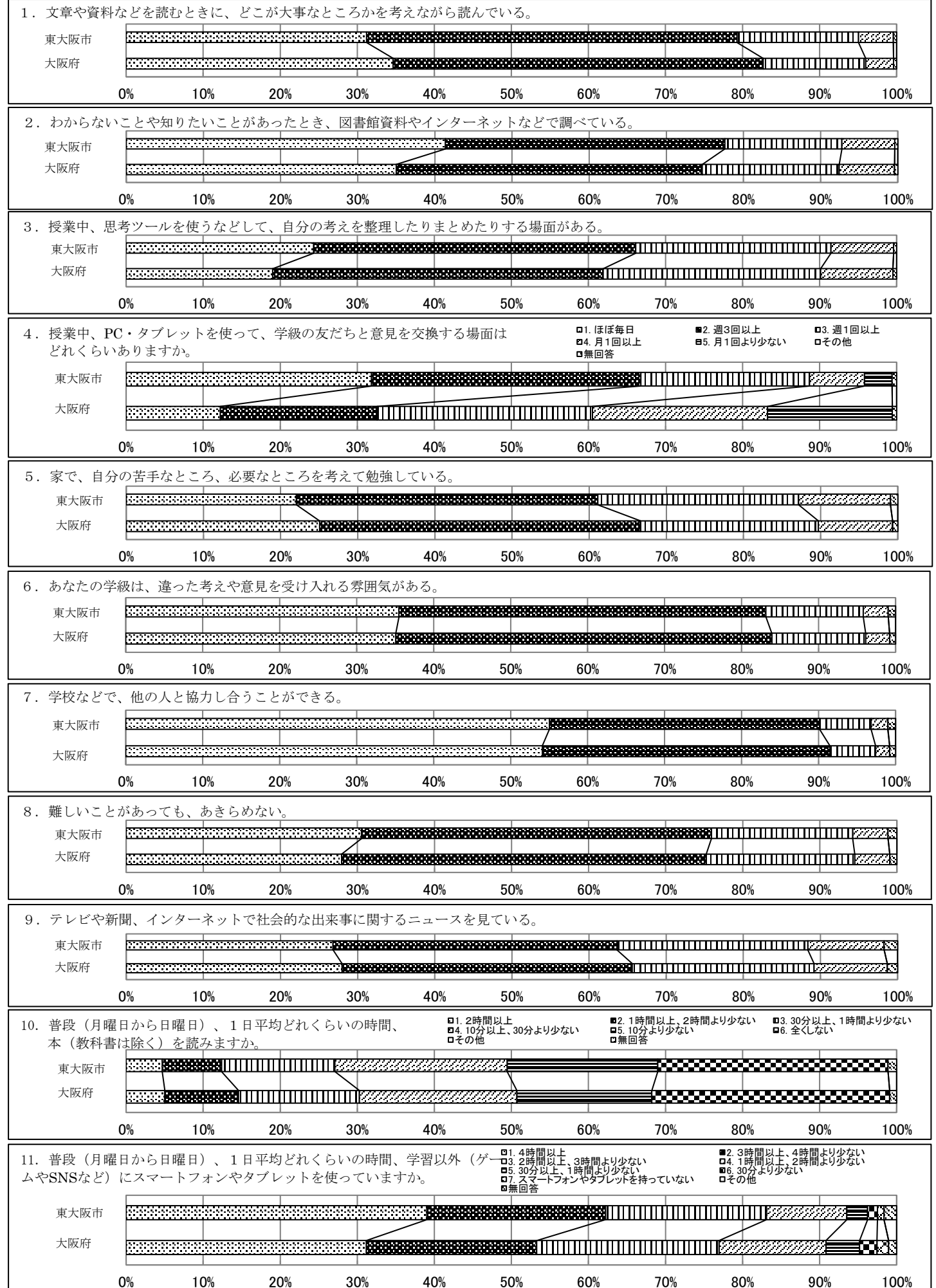
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	6	20	7.9	8.6	39.4	42.9
	「粒子」	6	20	8.9	9.9	44.7	49.4
	「生命」	12	40	18.9	20.4	47.2	51.1
	「地球」	6	20	7.9	8.7	39.7	43.7

第3学年 英語 平均点【市】47.6点【府】54.2点



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				東大阪市	大阪府	東大阪市	大阪府
全体							
学習指導要領の領域等	聞くこと	10	26	16.1	17.5	62.0	67.4
	読むこと	11	32	16.9	18.6	52.7	58.1
	書くこと	14	42	14.6	18.1	34.7	43.1

<中学校3年生> □1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ▨3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



令和6年度 大阪府中学生チャレンジテスト概要

○調査目的（大阪府教育委員会作成の実施要領より）

- ① 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- ② 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- ③ 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- ④ 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

○調査概要

	1年生	2年生	3年生
実施日	令和6年1月10日(水)	令和6年1月10日(水)	令和5年9月5日(火)
実施教科	国語・数学・英語	国語・社会・数学・理科・英語	国語・社会・数学・理科・英語
調査実施 生徒数(本市)	【国語】 2,967人 【数学】 2,970人 【英語】 2,969人	【国語】 2,966人 【社会A】 2,895人 【社会B】 81人 【数学】 2,975人 【理科A】 1,400人 【理科B】 1,588人 【英語】 2,985人	【国語】 3,032人 【社会】 3,053人 【数学】 3,047人 【理科B】 642人 【理科C】 2,414人 【英語】 2,985人

○テスト結果の取扱いに関する配慮事項（大阪府教育委員会作成の実施要領より）

テストにより測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど、十分配慮すること。

関連サイト

○令和5年度 大阪府 中学生チャレンジテスト —調査問題・正答(例)—

https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/challenge_05_mondai.html

